平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　藤倉化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4620　URL　http://www.fkkasei.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鷲野　襄治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 下田　善三　TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,547	2.5	694	△38.9	739	△34.1	525	4.4
24年3月期第2四半期	25,888	△5.8	1,137	△40.8	1,120	△37.2	503	△46.7

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　467百万円　(9.2%)　24年3月期第2四半期　428百万円　(△43.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.06	―
24年3月期第2四半期	15.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,906	24,124	53.0
24年3月期	42,428	23,845	53.0

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　22,752百万円　24年3月期　22,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
25年3月期	―	7.00			
25年3月期(予想)			―	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	2.9	1,800	△2.8	1,800	0.9	1,100	10.8	33.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	32,716,878 株	24年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	38,168 株	24年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	32,678,710 株	24年3月期2Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として一部で持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧州における金融不安や新興国の経済成長の鈍化などによって世界的な景気の減速感が強まってきており、円高の長期化やアジア近隣諸国との外交問題などもあり、先行きは非常に不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内では、震災からの復興に伴う増産やエコカー補助金制度などの販売促進政策により、国内の新車登録台数は前年同時期と比べ大きく増加いたしました。海外向けにおいても、需要が好調に推移した北米市場を中心として自動車輸出台数は増加いたしました。住宅産業につきましては、震災からの復興需要等を背景に、需要の持ち直しの動きが継続しており、新設住宅着工戸数は前年同時期を上回りました。エレクトロニクス産業につきましては、市場拡大の続くスマートフォン・タブレット端末とその関連分野では、引き続き好調に推移いたしましたが、半導体・電子部品分野では、デジタル家電関連での需要の低迷や世界的な競争の激化などにより、非常に厳しい市場環境となりました。

このような環境の下、当第２四半期連結累計期間の売上高は265億47百万円（前年同期比2.5％増）となり、営業利益は６億94百万円（同38.9％減）、経常利益は７億39百万円（同34.1％減）、四半期純利益は５億25百万円（同4.4％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）につきましては、自動車分野においては、国内市場では、東日本大震災による生産調整の影響を大きく受けた昨年同時期と比べ、大幅に需要が回復し、売上高は増加いたしました。海外市場では、欧州市場向けは低調に推移いたしましたが、東南アジア及び北米市場向けにおいて堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は89億12百万円（同5.3％増）となり、営業利益は３億円（同23.4％増）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材につきましては、新築向け市場は前年同時期と比べ微減となりましたが、リフォーム向け市場が販売体制強化による施工棟数の増加によって、売上高増加に寄与いたしました。

この結果、売上高は59億21百万円（同5.8％増）となり、営業利益は３億94百万円（同2.1％減）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）の電子材料部門におきましては、電子部品業界における価格競争の激化、円高の長期化による国際的競争力の低下などによって、需要が低調に推移し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は23億73百万円（同26.8％減）となり、営業損失は24百万円（前年同四半期は営業利益３億21百万円）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどの機能材料部門におきましては、主要ユーザーの事業形態の変更などによって、主力製品である粘着材ベースの需要が低迷したこともあり、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は７億94百万円（同17.8％減）となり、営業損失は15百万円（前年同四半期は営業利益46百万円）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などの化成品部門におきましては、ＯＡ機器分野における大手ユーザー向けのトナー関連製品が堅調に推移したほか、電荷制御剤の需要の拡大などによって売上高は上伸いたしました。

この結果、売上高は12億30百万円（同3.5％増）となり、営業利益は97百万円（同15.2％減）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、ＬＥＤ液晶ＴＶ向け用途製品の採用が増加したことや、コンビニエンスストア向けの建材関連事業で順調に推移したことなどから、売上高は増加いたしましたが、薄型ＴＶの生産調整の影響による在庫の増加や為替相場の影響もあり、利益面では非常に厳しい環境となりました。

この結果、売上高は74億１百万円（同13.5％増）となり、営業損失は58百万円（前年同四半期は営業利益10百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債・純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ４億78百万円（前連結会計年度末比1.1％）増加し、429億６百万円となりました。

①　流動資産

FUJIKURA KASEI(THAILAND)CO.,LTD.及び米国子会社のRED SPOT PAINT & VARNISH CO.,INC.において当第２四半期連結会計期間の売上増加に伴う売上債権の増加の結果、前連結会計年度末と比べ３億53百万円（同1.4％）増加し、257億71百万円となりました。

②　固定資産

英国子会社のFujichem Sonneborn Ltdの機械及び装置の入替などによる有形固定資産の増加及び当社などのソフトウエアの増加などの結果、前連結会計年度末と比べ１億26百万円（同0.7％）増加し、171億36百万円となりました。

③　流動負債

米国子会社のRED SPOT PAINT & VARNISH CO.,INC.における売上高増加に伴う原材料の購入増加による仕入債務及び短期借入金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ５億68百万円（同4.0％）増加し、149億20百万円となりました。

④　固定負債

社債の償還などにより、前連結会計年度末と比べ３億68百万円（同8.7％）減少し、38億62百万円となりました。

⑤　純資産

利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ２億79百万円（同1.2％）増加し、241億24百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の53.0％と変動はなく、１株当たり純資産額は前連結会計年度末より８円73銭増加し、696円23銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末並みとなり、64億46百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①　営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が２億７百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益８億40百万円や減価償却費７億26百万円などにより、12億43百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は６億61百万円の支出）となりました。

②　投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出５億83百万円、無形固定資産の取得による支出１億77百万円などにより、８億88百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は13億17百万円の支出）となりました。

③　財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により３億14百万円の収入があったものの、社債の償還により４億23百万円の支出、配当金により２億29百万円の支出などがあったため、３億54百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は49百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しは、国内では、東日本大震災の復興需要等を背景に持ち直しの動きが続いていくものと思われますが、中国の経済成長の鈍化による輸出の減少、アジア近隣諸国との外交問題や円相場の高止まりなど、企業の経営環境は非常に厳しい状況で推移していくものと思われます。

このような経営環境の下、当社グループでは、経費削減策やマーケット戦略の見直しなどの経営諸策を実施し、確実な収益の確保に取り組んでまいりますが、当第２四半期連結累計期間実績や今後の受注動向の予測などを考慮し、平成24年５月11日に公表いたしました平成25年３月期通期の業績予想の修正を行いました。

詳細は本日、平成24年11月９日に別途開示しました「平成25年３月期第２四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,053千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,278,102	7,398,086
受取手形及び売掛金	12,005,694	12,369,496
商品及び製品	3,369,927	3,256,981
仕掛品	29,473	57,794
原材料及び貯蔵品	1,927,934	1,936,722
繰延税金資産	569,461	518,218
その他	386,112	392,876
貸倒引当金	△148,287	△159,215
流動資産合計	25,418,416	25,770,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,596,603	8,404,523
減価償却累計額	△4,051,203	△4,214,938
建物及び構築物（純額）	3,545,400	4,189,585
機械装置及び運搬具	9,881,652	10,239,154
減価償却累計額	△7,277,202	△7,443,093
機械装置及び運搬具（純額）	2,604,450	2,796,061
工具、器具及び備品	3,237,719	3,278,377
減価償却累計額	△2,715,319	△2,740,005
工具、器具及び備品（純額）	522,400	538,372
土地	4,150,207	4,170,258
リース資産	280,782	359,285
減価償却累計額	△163,023	△181,984
リース資産（純額）	117,759	177,301
建設仮勘定	1,011,829	113,025
有形固定資産合計	11,952,045	11,984,602
無形固定資産		
ソフトウエア	367,061	636,225
のれん	165,324	84,918
その他	837,234	822,484
無形固定資産合計	1,369,619	1,543,627
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,523	1,162,962
長期貸付金	60,690	49,774
繰延税金資産	655,103	781,646
その他	1,709,158	1,683,118
貸倒引当金	△46,509	△70,204
投資その他の資産合計	3,687,965	3,607,296
固定資産合計	17,009,629	17,135,525
資産合計	42,428,045	42,906,483

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,526,919	7,660,087
短期借入金	2,985,614	3,331,666
1年内償還予定の社債	845,000	782,500
未払法人税等	156,264	279,428
未払費用	801,088	767,484
賞与引当金	546,293	530,380
リース債務	68,592	79,223
その他	1,423,120	1,489,721
流動負債合計	14,352,890	14,920,489
固定負債		
社債	720,000	360,000
長期借入金	―	68,746
繰延税金負債	263,558	263,630
退職給付引当金	2,424,531	2,311,998
長期未払金	421,531	400,440
リース債務	108,280	116,383
その他	292,495	340,833
固定負債合計	4,230,395	3,862,030
負債合計	18,583,285	18,782,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	12,631,508	13,016,324
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	22,998,859	23,383,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,437	△63,780
為替換算調整勘定	△575,787	△567,989
その他の包括利益累計額合計	△532,350	△631,769
少数株主持分	1,378,251	1,372,058
純資産合計	23,844,760	24,123,964
負債純資産合計	42,428,045	42,906,483

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	25,887,878	26,547,309
売上原価	18,836,928	19,706,994
売上総利益	7,050,950	6,840,315
販売費及び一般管理費	5,914,109	6,146,047
営業利益	1,136,841	694,268
営業外収益		
受取利息	2,794	3,815
受取配当金	25,309	22,264
固定資産賃貸料	33,041	33,257
その他	35,590	65,588
営業外収益合計	96,734	124,924
営業外費用		
支払利息	50,454	45,671
その他	62,731	34,625
営業外費用合計	113,185	80,296
経常利益	1,120,390	738,896
特別利益		
退職給付制度改定益	－	131,942
特別利益合計	－	131,942
特別損失		
災害による損失	20,403	－
投資有価証券評価損	－	30,875
特別損失合計	20,403	30,875
税金等調整前四半期純利益	1,099,987	839,963
法人税、住民税及び事業税	552,265	297,337
法人税等調整額	6,623	△14,180
法人税等合計	558,888	283,157
少数株主損益調整前四半期純利益	541,099	556,806
少数株主利益	38,473	32,123
四半期純利益	502,626	524,683

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	541,099	556,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,828	△105,834
為替換算調整勘定	△21,144	26,295
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△9,786
その他の包括利益合計	△112,972	△89,325
四半期包括利益	428,127	467,481
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,107	425,264
少数株主に係る四半期包括利益	38,020	42,217

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,099,987	839,963
減価償却費	674,360	726,418
のれん償却額	100,495	86,988
退職給付引当金の増減額（△は減少）	104,265	△45,422
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,895	△16,338
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,332	31,288
受取利息及び受取配当金	△28,103	△26,079
支払利息	50,454	45,671
投資有価証券評価損益（△は益）	1,584	30,875
売上債権の増減額（△は増加）	△764,022	△327,369
たな卸資産の増減額（△は増加）	△659,831	108,530
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△133,094	△12,882
敷金及び保証金の増減額（△は増加）	49,165	△1,833
仕入債務の増減額（△は減少）	△395,435	86,514
未払費用の増減額（△は減少）	68,534	△41,010
未払消費税等の増減額（△は減少）	△14,189	38,808
その他の流動負債の増減額（△は減少）	10,940	△107,588
長期未払金の増減額（△は減少）	△18,935	△21,091
その他	45,128	27,356
小計	189,740	1,422,799
利息及び配当金の受取額	28,103	26,079
利息の支払額	△52,195	△46,604
法人税等の支払額	△826,814	△207,093
法人税等の還付額	－	48,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	△661,166	1,243,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△601,227	△721,307
定期預金の払戻による収入	401,128	601,243
有形固定資産の取得による支出	△830,309	△582,672
無形固定資産の取得による支出	△82,601	△177,421
投資有価証券の取得による支出	△23,229	△47,451
関係会社出資金の払込による支出	△212,925	－
保険積立金の積立による支出	△23,581	△84,596
保険積立金の払戻による収入	3,384	112,109
貸付けによる支出	△2,968	△5,500
貸付金の回収による収入	53,464	17,324
その他	1,756	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,317,108	△888,360

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	801,854	313,635
長期借入れによる収入	－	63,040
長期借入金の返済による支出	△101,400	－
社債の償還による支出	△422,500	△422,500
リース債務の返済による支出	△37,579	△41,589
配当金の支払額	△228,751	△228,751
少数株主への配当金の支払額	△60,453	△37,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,829	△354,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,134	△1,019
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,044,237	△80
現金及び現金同等物の期首残高	7,904,927	6,446,016
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,392	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,870,082	6,445,936

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	8,461,795	5,597,607	3,225,469	966,138	1,187,639	6,449,230	25,887,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	14,509	65	－	71,990	86,564
計	8,461,795	5,597,607	3,239,978	966,203	1,187,639	6,521,220	25,974,442
セグメント利益	242,694	402,045	320,878	45,821	114,918	10,410	1,136,766

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,136,766
セグメント間取引消去	75
四半期連結損益計算書の営業利益	1,136,841

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	8,911,692	5,920,624	2,359,513	794,177	1,229,615	7,331,688	26,547,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	88	13,391	201	－	69,542	83,222
計	8,911,692	5,920,712	2,372,904	794,378	1,229,615	7,401,230	26,630,531
セグメント利益又は損失（△）	299,590	393,803	△24,123	△14,937	97,402	△57,603	694,132

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	694,132
セグメント間取引消去	136
四半期連結損益計算書の営業利益	694,268

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「コーティング」で9,828千円、「建築用塗料」で172千円増加し、セグメント損失が、「合成樹脂」で53千円減少しております。

（７）重要な後発事象

１．無担保私募債の発行

当社は、平成24年11月９日開催の取締役会において、下記の条件にて無担保私募債を発行する決議をいたしました。

発行する社債の種類	無担保私募債（適格機関投資家限定）
発行価額	各社債の金額100円につき100円
発行総額	25億円
利率	各社債の総額引受人が提示する、払込期日から償還期限までの期間に応答する年限の固定金利社内仕切レート+0.45%以下とする。
償還方法	１年間据え置き後、５年内に分割償還を行います。
償還期間	６年以内
発行の時期	平成24年11月
資金の使途	海外子会社への増資資金、設備資金及び運転資金

２．子会社の増資

当社は、平成24年11月９日開催の取締役会において、当社の英国における連結子会社であるFujichem Sonneborn Ltdが行う株主割当増資について、以下の通り、総額引受ける決議をいたしました。

名称	Fujichem Sonneborn Ltd
事業内容	プラスチック用コーティング材等の製造・販売
払込金額	11.4百万英ポンド
払込期間	平成24年11月から平成24年12月まで
増資の目的	自己資本の充実による財務基盤の健全化及び運転資金の充実を目的として実施するものであります。